※教材の表紙・内容、執筆者の肩書などは、図書教材新報第 259 号（2026 年 11 月 25 日）へ掲載した当時のものです。

教材活用シリーズ　第 194 回

☆日図協加盟出版社の発行している教材について、実際の授業における活用例、より効果が得られるポイント（場面・方法）などをご紹介します。

『ドリルプラネット』が待望の5教科対応へ進化！

㈱光文書院
光文書院のデジタル教材
『ドリルプラネット』



（株）光文書院　EdTech 統括

光文書院は、「学ぶことを楽しむ子どもたちであふれる未来を創造すること」をミッションに掲げ、全国の小学生を対象とした教材事業を展開しています。大切にする学力観は、営利目的の受験競争ではありません。子どもたち一人ひとりの存在全体と向き合い、すべての子どもたちに学びの機会を提供し、「子どもたちの心の底から学習意欲が湧き起こるような教材」を開発し、すべての子どもたちに届けることを目指しています。

デジタルドリル『ドリルプラネット』は、皆様のご愛顧と温かいご指導に支えられ、今年で提供5年目を迎えました。また、2025年には、日本 e-Learning 大賞で『個別最適な学び特別部門賞』を受賞いたしました。大人気キャラクターとともに、子ども自身が「きほん」「れんしゅう」「たしかめ」の段階を選びながら夢中になって取り組める教材として、現在、全国の多くの学校現場でご好評をいただいております。

1．先生と児童の皆様の声に応え、ついに「5教科対応」へ拡張！

これまで『ドリルプラネット』は国語と算数の2教科を中心に展開し、紙教材とデジタル教材の良さを掛け合わせた「新しい学び」の創造に取り組んで参りました。そのなかで、日頃からご活用いただいている全国の先生方や児童の皆様から『ドリルプラネット』を使って、理科や社会、英語の勉強もしたい！」という大変熱いご要望を多数いただいておりました。

こうした皆様からの切実な声にお応えし、今年10月より、これまでの国語・算数に加え、理科・社会・英語の3教科を段階的に追加し、待望の「5教科対応」へと大きく進化いたします。

2．「きほん」と「たしかめ」を行き来する、こだわりの新機能

今回追加される理科・社会・英語には、それぞれの学習を確実に支える「きほん」と「たしかめ」のメニューを用意しました。

◆理科・社会：イラストや画像付きで、教科書がなくても要点がわかる「きほん」

理科・社会の「きほん」メニューでは、小単元毎に押さえておきたい学習の要点をわかりやすくコンパクトにまとめています。イラストや画像を豊富に取り入れ、視覚的にも直感的に要点を理解できるようになっている点が大きな特長で

▼理科



▼社会



す。これにより、手元に教科書がない家庭学習や隙間時間であっても、授業で習った重要ポイントを楽しく、すぐに復習できることがメリットです。

◆英語：動画と音声で英語表現が自然と身につく

英語の「きほん」メニューでは、単元毎の英語表現を用いた字幕付きの動画を視聴できる機能を備えているので、聞くだけでなく視覚的にもわかりやすく学ぶことができます。また、リズムに乗って英語を声に出す、授業内でも使いやすいコンテンツがあり、英語を口に出す楽しさや成功体験を感じることができます。

▼英語（きいてみよう！）



▼英語（いってみよう！）



◆シームレスな学びと多学年利用で「わかる」を実感

「たしかめ」メニューでは、選び抜かれた質の高い1問1答形式の問題で復習が行えます。選択式問題に加え、手書き入力やタイピング入力による記述問題（※英語を除く）にも対応しています。

最大の特長は、「たしかめ」で問題を解いている最中に疑問が生じても、「きほんを見る」ボタンを押すことで、その場ですぐに「きほん」を開いて要点の確認ができることです。解く・調べる・理解する、というプロセスを自由に行き来できるため、子どもが途中で手を止めることなく、一人で確実につまずきを解消しながら学びを進めることができます。



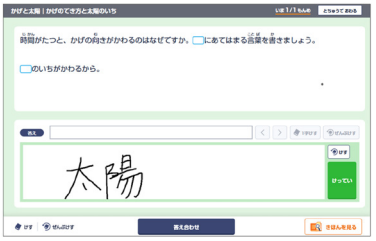
▲「たしかめ」から「きほん」

また、全教科書に対応していることに加え、他学年の学習内容も利用可能です（※他学年利用時は標準版での学習となります）。学年をさかのぼった復習や、興味に応じた先取り学習など、一人ひとりの習熟度に合わせた柔軟な学びを実現します。

▼理科 たしかめ（選択式）



▼理科 たしかめ（記述式）



3．探究学習の時間を支え、先生の指導を強力にサポート

近年、理科や社会などでは探究的な学習の時間が増加する一方、基礎知識を定着させる時間の確保が難しくなっているという現場の課題があります。だからこそ、授業進度に合わせて短時間でピンポイントに活用できる『ドリルプラネット』の理科・社会・英語は、これからの教室に非常にマッチします。授業冒頭5分での振り返りや単元のまとめ、テスト直前の空き時間での確認など、短時間で効果的な基礎固めが可能です。自動採点機能により一人で解き進められるため、先生は個別指導が必要な児童のサポートに集中できます。また、宿題を出す「ミッション配信」を行えば、家庭での確認学習としても効果を発揮します。授業の補助からテスト対策、持ち帰り学習まで、先生方の教材準備や採点の手間を減らしながら、日々の授業づくりを強力に助ける存在となります。

おわりに

光文書院の『ドリルプラネット』は、子どもたちが学ぶことを好きになれるよう、現場の先生方や子どもたちの声に寄り添いながら進化を続けて参りました。5教科へと進化した『ドリルプラネット』が、全国の教室やご家庭で、子どもたちの「学びたい！」という笑顔をより一層増やしていくことを願っております。